

IT総合戦略本部における
IT化と業務改革の取組

平成27年11月4日
島尻臨時議員提出資料

世界最先端IT国家創造宣言（平成27年6月30日閣議決定）

抜粋

I. 基本理念

□ 2013年 政府CIOの制度を創設し、「横串」を通す取組を開始。「世界最先端IT国家創造宣言」策定（2014年、2015年に改定）

1. 再生する日本の礎であるITの利活用

○成長戦略の柱として、ITを成長のエンジンに位置付け、IT政策担当大臣の下、政府CIOを中心に横串を通す取組を推進。

代表的な成果

- 業務改革（BPR）を踏まえた**政府情報システムのシステム数と運用コストの削減**
- **マイナンバー制度の利活用に資する取組の推進、個人情報保護法の改正法の成立**
→国の成果を自治体に展開推進

2. 「真の豊かさ」の追求を通じ、課題解決型のIT利活用モデルを構築

○ITの進展、データ流通量の増大による、IoT、AIの時代へと変化。セキュリティを確保しつつ、こうした技術を活用し、世界でも類を見ない「課題解決型IT利活用モデル」を構築することで、国民が実感できる「真の豊かさ」を実現。

II. 目指すべき社会、III. 実現するための取組

2020年までに世界最高水準のIT利活用社会の実現と成果の国際展開を目標とし、IT利活用により以下の**4本柱**に取組む

①IT利活用の深化により未来に向けて成長する社会の実現

→新たな**IT利活用環境**の整備（IT利活用を加速する新たな法制度の検討）／公共データの民間開放（**オープンデータ**）の推進

②まち・ひと・しごとの活性化による活力ある社会の実現

→**地方創生IT利活用促進プラン**の推進／雇用形態の多様化とワーク・ライフ・バランスの実現 等

③安全・安心・豊かさが実感できる社会の実現

→健康増進等を通じた**健康長寿社会**の実現／ITを利活用した**農業**の高度化と国際展開／世界で最も安全で経済的な**道路交通社会**の実現

④公共サービスがワンストップで受けられる社会の実現

→**マイナンバー制度**の活用推進／国・地方を通じた**行政情報システム**の改革

政府情報システム改革の成果と今後の取組について

政府情報システム数の推移 (平成27年3月時点の見込み)



戦略目標

2018年度までにシステム数半減

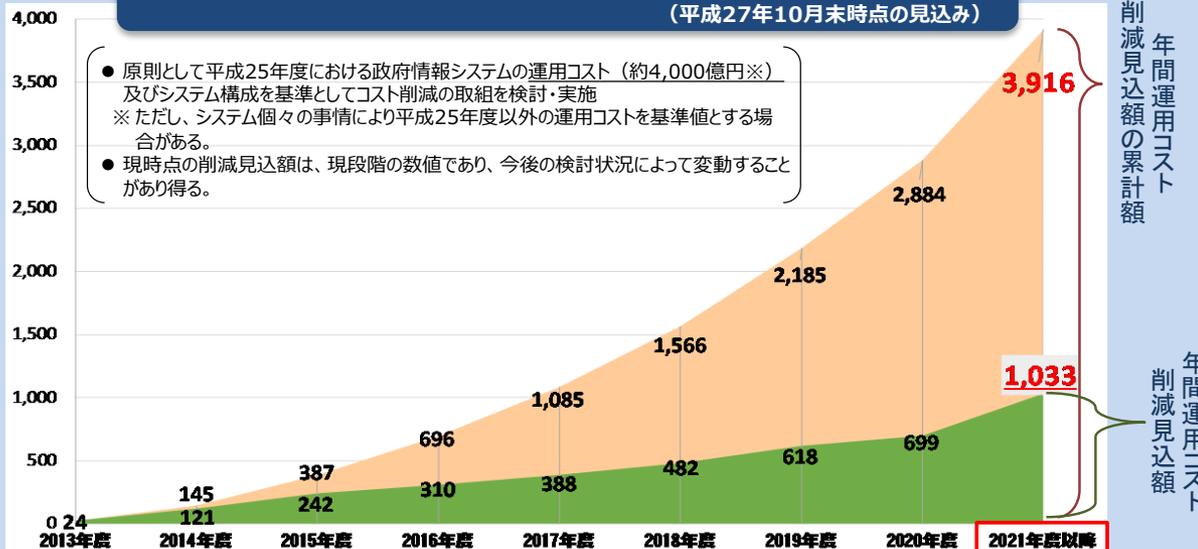
- 全ての政府情報システムを対象として、中長期の改革工程を示す「政府情報システム改革ロードマップ」を策定
- 同ロードマップに基づく統廃合・クラウド化等の実施により、**2018年度までのシステム数半減達成に目途(63%減)**

戦略目標

2021年度を目途に運用コスト3割減

- 各府省において、コスト削減方策と削減見込額を明らかにするコスト削減計画を策定
- 政府C I O自ら300回を超えるヒアリング・レビューを実施
- コスト削減対象のシステム全体では、年間計1,000億円を超える削減に目途(27%減)**
- 厚生労働省の年金関連システムでは年間251億円、ハローワークシステムでは年間155億円の削減を見込むなど、**大規模システム(年間運用コストが50億円以上のシステム)では3割を超える削減に目途**

政府情報システムの運用コスト削減見込額の推移 (平成27年10月末時点の見込み)



- 原則として平成25年度における政府情報システムの運用コスト(約4,000億円※)及びシステム構成を基準としてコスト削減の取組を検討・実施
- ※ただし、システム個々の事情により平成25年度以外の運用コストを基準値とする場合がある。
- 現時点の削減見込額は、現段階の数値であり、今後の検討状況によって変動することがあり得る。

- 顧客視点での業務改革(BPR)に踏み込んだ業務・システム改革
- マイナンバー制度等の円滑な運用のための国・地方、地方間連携等を引き続き推進

地方自治体への情報システム改革の展開

- 情報システム改革における国の取組と成果を、地方に展開
- 総務省と連携により自治体クラウドを展開し、自治体の情報システムの運用コストを圧縮

現状

クラウド導入市区町村（平成26年4月1日現在）：550団体

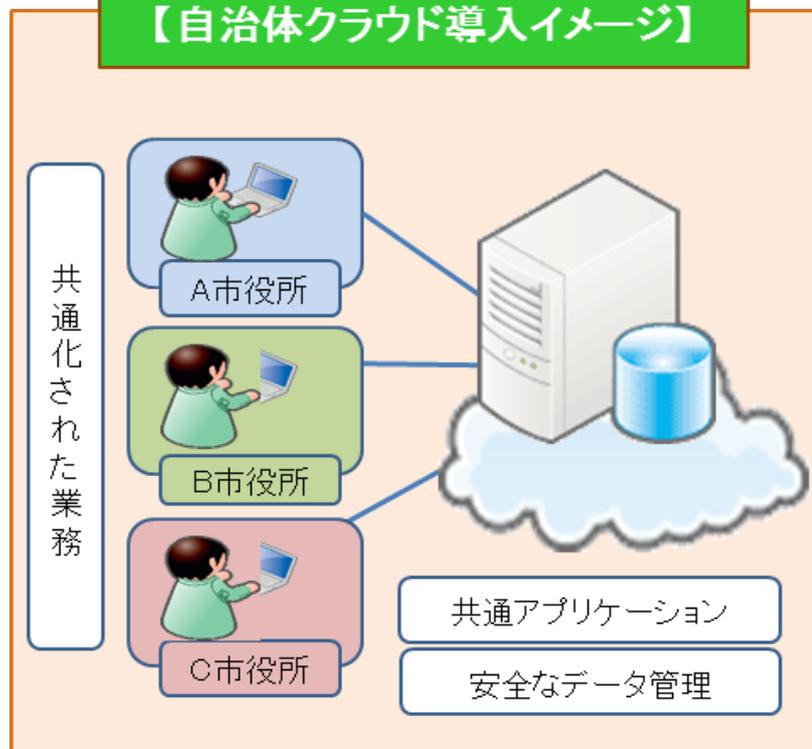
（うち自治体クラウド（複数団体共同でのクラウド化）211団体、単独クラウド（単独団体でのクラウド化）339団体）

目標

- 自治体クラウドを中心に**クラウド導入市区町村数**を更に増加させ、平成29年度までに倍増（約**1,000団体**）を図る
- 自治体の情報システム改革を推進するとともに、自治体クラウド未実施団体においては、自治体クラウド導入の取組加速により、当該情報システムのコスト削減を図る。また、自治体クラウド導入団体にあっても更なる業務の共通化・標準化の実施による自治体クラウドの質の一層の向上を図る。これらを通じて、**自治体の情報システムの運用コストの圧縮（3割減）**を図る

（このような自治体クラウド導入の取組の結果、システム関係のIT人材の余剰が見込まれ、そのシフトによりセキュリティ人材の充実が期待される）

【自治体クラウド導入イメージ】



IT戦略を成功に導くために

(平成25年 各府省情報化統括責任者 (CIO) 連絡会議等に提示)

1. 役割と実行責任の明確化

- 各府省幹部 (CIO、局長クラス) によるリーダーシップの発揮
- 事業部門およびIT部門の責任の明確化

2. 国民に対する説明責任の履行

- 投資対効果 (ROI) の明確化 (定量的なKPIの設定)
- 事業部門およびIT部門の責任の明確化
- 事後検証の適切な実施 (具体的な成果の刈り取り)

3. 現状把握の徹底

- 関係機関含めた全体像の把握が必要
- 業務フロー、システムの現状分析と課題抽出

4. お客様視点でのサービス提供

- 使い勝手のよくないサービスが利用されない
- 利用者が求めるのは、縦割りを横断したサービス (ワンストップ・プッシュ型サービス)

5. 業務改革 (BPR) の徹底

- 目標実現の障害となる組織・制度・ルールの壁は打破する

6. 標準化・共通化の徹底

- リソースの共有と再利用
- 共有ルールの活用

7. 具体的な改革プランの策定

- 適切な成果目標の設定とその達成時期、目標達成のために必要な取組内容 (制度の見直しや業務・システムの改革内容等) の明確化

8. マネジメント体制の確保等

- 府省横断の連携体制の確保、国・地方間の連携促進
- 必要なドキュメントの整備・関係機関間での共有
- 適切な進捗管理
- 少なくとも3か月毎の政府CIOによるレビュー (PDCAサイクルの一環)
- 人事ローテーション上の配慮 (中核となる人材は、プロジェクトのライフサイクルの節目まで異動させない)

政府情報システムの運用コスト削減見込みの状況

■ 運用等経費50億円以上の政府情報システムに係る削減見込みは次のとおり。

【平成27年10月末時点（未定稿）】

（参考）平成27年6月時点

順位	府省名	情報システム名	平成25年度 運用等経費 (単位:百万円)	現時点の 削減見込額 (単位:百万円)	現時点の 削減割合	削減見込額 (単位:百万円)	削減割合
1	厚生労働省	ハローワークシステム	47,251	15,537	34.2%	15,537	34.2%
2	厚生労働省	記録管理・基礎年金番号管理システム	46,164	25,100	45.6%	25,100	45.6%
3	厚生労働省	年金給付システム	32,740	(調整中)	—	(調整中)	—
4	財務省	国税総合管理システム(KSKシステム) ※オープンシステム等を含む	30,201	9,664	30.8%	7,992	25.6%
5	法務省	登記情報システム	21,454	7,280	32.6%	6,700	30.0%
6	経済産業省	特許事務システム	15,547	4,795	28.0%	3,708	21.7%
7	法務省	出入国管理システム	10,043	3,130	31.2%	1,636	16.3%
8	防衛省	陸自業務システム(仮称) (陸自補給管理システム)	8,178	3,044	29.9%	2,005	22.0%
9	総務省	総合無線局監理システム	7,662	610	20.6%	512	17.3%
10	財務省	国税電子申告・納税システム(e-Tax)	7,160	2,282	31.9%	1,279	17.9%
11	厚生労働省	労働基準行政情報システム・労災行政情報 管理システム	5,926	2,036	30.2%	2,036	30.2%
12	法務省	地図情報システム	5,821	1,955	33.6%	1,740	30.5%
13	財務省	官庁会計システム	5,009	1,419	30.5%	1,399	30.1%
合 計			243,157	76,852	30.5%	69,645	27.8%

注)
 ・現時点の削減見込額は、原則として、H25年度の運用等経費を基準値として検討を行ったものであるが、個々のシステムの事情によりH25年度以外の運用等経費を基準値とする場合がある。
 ・「年金給付システム」の削減見込額については、平成27年度から業務・システム改革に向けた調査・分析に着手する計画としており、現時点で削減見込額を明示することは困難なことから、調整中としている。
 ・「陸自補給管理システム」は、他システムとの統合によるコスト削減を図りつつ、新たに「陸自業務システム（仮称）」として運用を行う予定である。